

令和7年度第二回当別町新庁舎建設検討委員会報告書

- 1 日 時 令和7年6月26日（木） 10:00～12:00
- 2 場 所 役場大会議室
- 3 出席者
(出席委員) 高橋委員長、和田副委員長、川村委員、下段委員、石田委員、
松岡委員、袴田委員、小貫委員、今堀委員
(町及び事務局)
【事務局】 長谷川企画部参与、遊佐事業推進課長
事業推進課 米内主幹、有澤主事
- 4 傍聴者 3名
- 5 会議概要
開会后、次第により、次のとおり委員会を取り進めた。
 - ・委員長挨拶
 - ・議 事
事務局より「建設候補地の検討について」、「建設手法の検討について」を資料に基づき説明した。
その後、松岡委員より、紫波町の視察内容についての説明があった。
 - ・質 疑
委 員：大変貴重な視察に行っていたが、紫波町というのは、町の将来や人口、
また産業構造などが当別町と似ているのか。
委 員：人口や、まちなかを国道が走っているという点では異なるが、基幹産業でい
えば農業だと思われるので、産業構造は似ていると思う。また、商店街の状
況も似ているように感じた。
委 員：紫波町も時間をかけてまちづくりを行っている。庁舎建設に期限的なもの
があるかどうかはわからないが、PFIでは時間がかかってしまうのではないかと
いう懸念がある。
委 員：正直、紫波町のようなプロジェクトは当別町には難しいと思う。リース手法
だと最短3年半ほどで建てられるとのことだが、まちづくりの観点から、個
人的には5年くらいかけてでも、じっくり検討したほうが良いと思う。
事 務 局：まず現時点でこれといった期限というのはありません。しかし、いつ災害が
起きてもおかしくないため、一刻でも早く建てたいという気持ちはあります。
だからといって、簡素で味気のない庁舎を建てるのではなく、商店街の活性
化等に資する庁舎づくりも良いと思っています。建設までの時間の課題も考
慮し、PFI も意識しながら、リース手法を活用することも有効であると思い

ます。

委員：紫波町の事例はまちづくりの中で面的に整備している事例であり、当別町にそのような場所はない。リース中は施設を保有しないという点でも、リース手法が良いと感じる。

事務局：従来手法もシンプルで良いのではないかとと思われるかもしれませんが、従来手法で建てた場合、借金が発生してしまいます。町の財政的に考えると借金はあまりしたくないというのがあります。

委員長：早く建てるのか、せっかく建てるなら人が集まるようなものにするのか、そういったことを提言書に盛り込む形にすればよいと思っている。

委員：候補地の話になるが、民地の買収の進み方によっては旧公民館が難しくなることも予想される。候補地の選定においても手法の選択においても、よりよいものを選んでほしい。

委員長：費用や実現性から見て、現庁舎用地は候補地から外してもいいと思うが、よろしいか。また、手法については、リース手法で、PFI も取り入れていくような形で整理してよろしいか。

(委員全体)：異議なし。

事務局：将来的に庁舎建設に使える補助金や有利な起債が出てくる可能性もなくはありません。そうなれば従来手法のほうが費用を安く抑えられるということもあります。手法を決めていくうえで、そういった補助金や起債についても事務局として注視していきたいと考えています。

委員長：他にご意見、ご質問等ありませんか。

本日は、建設候補地と庁舎建設の手法について、事務局より説明がありました。次回の委員会では、町長への提言書の内容について協議していくこととなります。引き続き、委員の皆様のご協力をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

・その他

事務局より、次回の委員会を7月中旬に開催する旨、連絡した。

資料も事前にお示しできるような形で調整する旨、連絡した。

以上